

# 福祉・医療・建築の連携による住居改善研究会

## 1999年度 第1回 ふくいけん 研究会のお知らせ

テーマ：住居改善 事例シリーズ (1) 設計者、福祉機器業者からの報告

住居改善にはさまざまな側面があり、それぞれの専門分野ごとにかかわり方も着眼点もさまざまです。連携を進めるには、それぞれの分野の得意なこと、限界のあることなどへのお互いの理解が必要です。それがベースにあれば、お互いに今よりもっと適切なアプローチがとれ、改善内容の質の向上がはかれると思います。

各分野で実際に住居改善にかかわっている人からの事例報告シリーズを二回にわたって企画しました。まず、第一回は建築設計技術者と福祉機器業者からの発表です。次回例会では、福祉の分野からの報告を予定しています。

皆様、お誘いあわせの上ご参加下さい。

日時： 6月5日 (土) 14:00から17:00

場所：大阪府社会福祉指導センター  
(大阪市中央区中寺一丁目1-54)  
参加費 500円 (非会員1000円)

テーマ：住居改善—事例シリーズ  
(設計者・福祉機器業者からの報告)  
司会進行・馬場昌子、間口豊彰

### プログラム

- 14:00 ---- 福祉機器業者からの報告  
(株) 関西、青山氏
- 14:40 ---- 設計者からの報告  
(外出、排泄、入浴、就寝、家事)  
快居の会、メンバー
- 16:15 ---- 休憩
- 16:30 ---- 質疑応答、その他

### ◆ 今後の例会予定

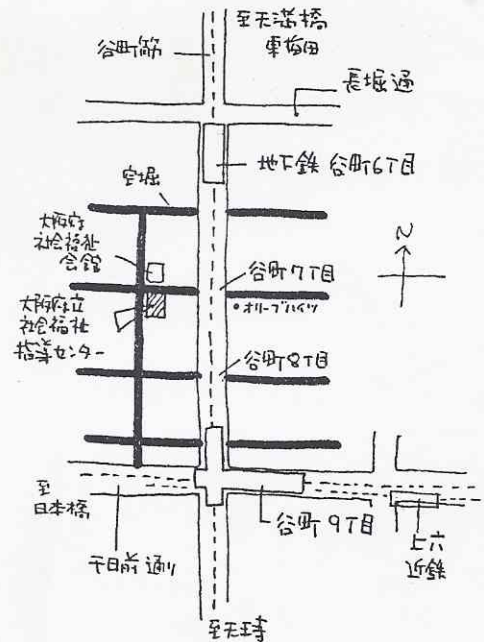
- 9月4日 福祉サイドからの住改事例
- 11月13日 NPO法人って何?
- 3月11日 介護保険と住居改善

### ◆ 1999年度会費納入についてのお願い

事務簡素化のため、第1回例会時または6月末までに会費(年会費1000円)の納入がない方については、以降のお知らせを取りやめさせていただきます。よろしくお願ひします。なお振込先は、下記の通りです。

郵便振替 口座番号 00920-9-93116  
加入者 ふくいけん研究会

なお通信欄に連絡先ファックス番号を明記願ひします。



大阪府社会福祉指導センター案内  
地下鉄谷町6丁目 ④ 出入口南側 3-01 信号 右へ  
地下鉄谷町9丁目 ④ 出入口北側 3-01 信号 左へ

平成11年度  
第2回 福祉・医療・建築の連携による  
住居改善研究会 (略)福医建

1999, 8. 5

住居改善 事例シリーズ② 福祉分野からの報告

参加費 500円 (非会員1,000円)

暑中お見舞申し上げます。

今年度第2回の研究会のお知らせです。この間福医建研究会のNPO法人化に向けての準備が順調に進み、8/17に、設立総会を開く運びとなりました。法人会員として、現在の所約45名のお申し出があります。また、大阪府からの委託「住宅改造テキスト作成」についても印刷の出来上がりを待つばかりの状態となりました。3年目の取組みになります共通言語作りにつきましても、そろそろ具体的な出版社との交渉の段階にまで漕ぎ着けました。

約10年ばかりの活動の成果が実をむすび、幾つかの成果がではじめました。これからの活動が期待できそうです。さて、以下に例会のお知らせを致します

訂正

と き：平成11年9月4日(土)午後2時～5時

と ころ：ドーンセンター、5Fセミナー室 (大阪市中央区大手前1丁目3-49)

地下鉄谷町線・京阪電車 天満駅下車 東へ徒歩5分

注：今までの会場と違っています。ご留意下さい。

なお、今後は出来るだけドーンセンターを使えるようにするつもりです。



テーマ：住居改善事例シリーズ②  
福祉分野からの報告

司会進行：新 雅子 馬場昌子

プログラム

PM2:00～ 高齢者の住宅改造助成事業の工夫とその成果  
A市高齢福祉担当ケースワーカー 田中英夫  
在宅介護支援センター若山荘 松本幸子

PM3:00～ 休憩

PM3:15～ 身体障害者・難病患者への住居改善相談  
作業療法士(フリー) 山下協子

PM4:15～ 質疑応答

PM4:40～ 事務報告 福医建NPO法人化、共通言語づくり、その他

以上

1999 年度

第 3 回 福祉・医療・建築の連携による住居改善研究会のお知らせ

## 安全で快適な居住の権利と NPO の可能性を考える

…… 住居改善活動を原点からとらえ直す ……

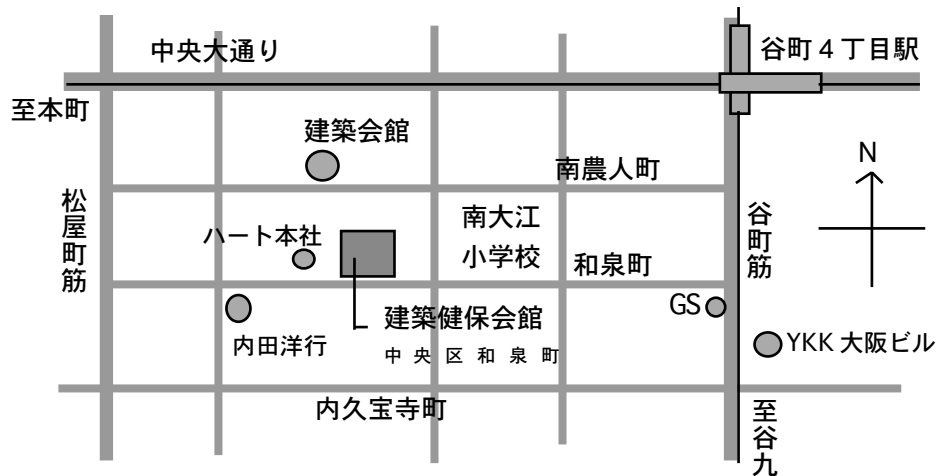
9 月 4 日の第 2 回例会でも報告いたしましたように、福医建研究会の NPO 法人化は、8 月 17 に設立総会を開催、同 24 日の認証申請提出で、4 ヶ月以内の認証を待つばかりとなりました。NPO 法人としての福医建研究会の規則である「定款」には、下記のような目的を掲げています。

高齢者や障害者が自宅において安全で快適な生活を営むには、福祉、医療、保健、建築など関連する職種、職能の専門家が連携して、住い方や福祉サービスの利用などのソフトの面および住宅の改造などのハードの面を合せた住居改善の活動に取り組むことが重要である。高齢者、障害者が安全で快適な社会生活を送ることができるかどうかは、基本的人権に関わる問題ととらえ、各分野の専門家が連携して住居改善についての活動ならびに関連する活動に取り組むことにより、多くの人たちの福祉の増進に寄与することを本会の目的とする。

本年度第 3 回の例会は下記の通り、山内直人さん、岸本幸臣さんをお招きして、NPO 法人化を進める福医建研究会の「活動の原点」をとらえ直そうとする試みです。

開催日時： 1999 年 11 月 13 日 (土) 午後 2 時～5 時

開催場所： 大阪府 建築健保会館 5F 中会議室 (大阪市中央区和泉町 2 丁目 1-11)



テーマ： 安全で快適な居住の権利と NPO の可能性を考える

プログラム	福医建 NPO 法人の組織と認証申請について	14:00~14:15
	法人化プロジェクトチーム 佐藤和子 馬場健一 (司会進行も)	
	NPO/NPO 法人の可能性	14:15~15:15
	講師 大阪大学大学院国際公共政策研究科助教授 山内直人 先生	
	基本的人権と居住保証	15:25~16:45
	講師 大阪教育大学教授 岸本幸臣 先生	
	質疑応答	16:45~17:00

<参加費 会員 500 円 会員外 1000 円 / テーマに興味をお持ちの会員外の方の参加歓迎します。>

特定非営利活動法人 福祉医療建築の連携による住居改善研究会

1999年度 第4回 例会のお知らせ

## 介護保険で住居改善はどう変わるか

— より重要になる住居改善支援の視点と技術 —

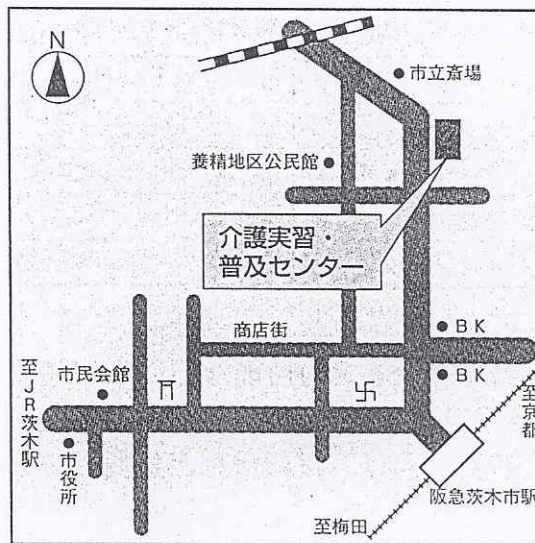
介護保険導入によって、住居改善がどのように変わっていくのか、東京から鈴木先生をお迎えして、お話を伺う企画をいたしました。

先生は、「住まいと健康」「高齢者の住宅」を専門とする建築家であり、全国各地の住居改善事例の支援を行う一方、保健婦・訪問看護婦やホームヘルパーに住居改善の視点と技術を教えておられます。3月時点では、制度の細部は確定していない点が多くありますが、全国的な動きの最新の情報提供や、制度の課題整理をしていただけるものと期待しております。

NPO法人となって初めての例会となります。多数ご参加ください。特に医療・保健・福祉職の参加を期待しています。なお、都合により当初の予定と日程が変更になりましたのでご注意ください。また会場は、介護実習・普及センター（茨木市）となりました。

開催日時： 2000年 3月18日（土）午後2時～5時

開催場所： 567-0813 茨木市大住町8-11 （阪急京都線茨木市駅より徒歩10分）  
大阪府立 介護実習・普及センター TEL 0726-26-3381  
5階/第1会議室 （大阪府茨木保健所と同じ建物です）



講師： 国立公衆衛生院 住環境衛生室長 鈴木 晃 先生  
著書「保健婦・訪問看護婦のための住宅改善支援の視点と技術」他多数

参加費： 会員 500円 会員外 1000円（会員外の参加歓迎します）

問い合わせ： 特定非営利活動法人 福祉医療建築の連携による住居改善研究会  
541-0046 大阪市中央区平野町1-2-3 TEL/FAX 06-6231-1277

\*PS 会員登録整備のため個人会員のみなさまは、別紙「会員データシート」にご記入のうえ  
06-6231-1277 にFAXにて返送ください。  
(社員のみなさまについては、すでに設立総会前に記入頂いておりますので、返送不要です。)